

# 横須賀市の児童・生徒の読書実態調査集計結果報告書

平成29年(2017年)3月

横須賀市教育委員会



## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

本市における子どもの読書の実態を調査し、第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握するため。

### (2) 調査対象

横須賀市立小学校の児童（4～6年生）・中学校の生徒（1～3年生）に対し調査を実施した。

全学校の対象学年の抽出1クラスに対しアンケートを実施した。

区分	全対象数		抽出数			
	学校数	児童・生徒数	学校数	配布数	回答数	回収率
小学校	46校	9,699人	46校	4,106人	4,007人	97.6%
中学校	23校	10,221人	23校	2,303人	2,193人	95.2%
合計		19,920人		6,409人	6,200人	96.7%

### (3) 実施方法

各学校に調査票を送付して依頼し、各学校単位で実施し、回収した。

### (4) 実施期間

平成28年12月1日～24日

### (5) 調査基準

平成28年11月の1か月間



## 2. 調査結果の概要

【問1】11月の1か月の間に、本を何冊ぐらい読んだか。

・小学校の児童の平均読書冊数は、7.5 (6.5) 冊で、中学校の生徒の冊数は3.9 (2.5) 冊である。読んだ本の冊数は、小学校の児童は前回よりも1.4冊増え、中学校の生徒の冊数も前回よりも1.4冊増えている。

・本を1冊も読まなかった小学校の児童は11.1% (10.2%)、中学校の生徒は41.9% (43.8%) で、小学校の児童は前回よりも0.9%増え、中学校の生徒は前回よりも1.9%減っている。

※ ( ) 内数字は、前回の調査の数値

### 読書冊数の全国との比較

(単位 冊)

区 分		今回調査値 (28年度)			前回調査値 (27年度)			基準値 (23年度)		
		本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
小学生	横須賀	7.5	1.5	8.5	6.5	1.7	7.0	4.9	1.9	7.4
	全国	11.4	3.7		11.2	4.0		9.9	4.9	
中学生	横須賀	3.9	1.7	9.8	2.5	1.6	7.5	2.9	2.3	10.9
	全国	4.2	1.7		4.0	2.1		3.7	3.3	

### 月間読書冊数別の割合 (本)

区分	合計	0 冊	1~4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
小学生	100.0%	11.1%	44.2%	44.7%	0.0%	7.5冊
	(100.0%)	(10.2%)	(47.0%)	(42.8%)	(0.0%)	(6.5冊)
中学生	100.0%	41.9%	41.8%	16.4%	0.0%	3.9冊
	(100.0%)	(43.8%)	(42.7%)	(13.5%)	(0.0%)	(2.5冊)

### 1か月の間に読んだ本の冊数が0冊だった児童・生徒の割合の全国との比較

(単位 %)

区 分		今回調査値	前回調査値	基準値
		(H28年度)	(H27年度)	(H23年度)
小学生	横須賀	11.1	10.2	17.1
	全国	4.0	4.8	6.2
中学生	横須賀	41.9	43.8	35.9
	全国	15.4	13.4	16.2

※全国数値は、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が合同で毎年行っている調査で、

第62回学校読書調査(平成28年調査)の数値



【問2】本を読むのが好きか。

・「好き」、「どちらかといえば好き」の割合は、小学校の児童80.4% (82.7%)、  
中学校の生徒68.8% (71.6%) である。

※ ( ) 内数字は、前回の調査の割合 (単位 %) )

区分	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば 嫌い	嫌い	無回答
小学生	43.2	37.2	14.2	5.4	0.1
	(30.3)	(52.4)	(13.4)	(3.6)	(0.3)
中学生	35.3	33.5	18.1	12.8	0.3
	(23.1)	(48.5)	(20.3)	(7.7)	(0.5)

【問1】と【問2】に対するクロス集計

本を読むことが好きかきらいかの別による読書冊数の比較

小学生

本を読むのが好きですか	合計	0冊	1~4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
好き	100.0%	2.9%	29.8%	67.3%	0.0%	12.1冊
	(100.0%)	(2.9%)	(28.3%)	(68.8%)	(0.0%)	(11.7冊)
どちらかといえば好き	100.0%	9.7%	55.8%	34.6%	0.0%	5.0冊
	(100.0%)	(7.6%)	(54.9%)	(37.6%)	(0.0%)	(4.9冊)
どちらかといえば嫌い	100.0%	24.5%	59.3%	16.2%	0.0%	2.7冊
	(100.0%)	(25.8%)	(60.6%)	(13.5%)	(0.0%)	(1.9冊)
嫌い	100.0%	52.1%	39.5%	8.4%	0.0%	1.4冊
	(100.0%)	(53.7%)	(38.3%)	(8.1%)	(0.0%)	(1.5冊)

中学生

本を読むのが好きですか	合計	0冊	1~4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
好き	100.0%	16.3%	49.3%	34.5%	0.0%	7.9冊
	(100.0%)	(13.5%)	(47.8%)	(38.7%)	(0.0%)	(5.9冊)
どちらかといえば好き	100.0%	39.8%	49.6%	10.6%	0.0%	2.4冊
	(100.0%)	(39.2%)	(52.4%)	(8.4%)	(0.0%)	(1.8冊)
どちらかといえば嫌い	100.0%	63.7%	33.5%	2.8%	0.0%	0.8冊
	(100.0%)	(71.0%)	(28.3%)	(0.7%)	(0.0%)	(0.4冊)
嫌い	100.0%	87.2%	11.7%	1.1%	0.0%	1.5冊
	(100.0%)	(90.3%)	(5.5%)	(4.2%)	(0.0%)	(2.4冊)



### 【問3】授業以外で学校図書館を利用したことがあるか

- ・「よく利用する」、「ときどき利用する」の割合は、小学校の児童52.2% (51.8%)、中学校の生徒21.3% (22.0%) である。
- ・昨年度より小学生の利用は増加し、中学生の利用は減少している。

※ ( ) 内数字は、前回の調査の割合 (単位 %)

区分	よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用したことがない	無回答
小学生	14.7	37.5	42.1	5.7	0.1
	(3.5)	(48.4)	(41.1)	(6.4)	(0.6)
中学生	5.0	16.3	38.3	40.0	0.4
	(1.7)	(20.3)	(42.8)	(34.9)	(0.3)

### 3. 第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の目標値との比較

指 標		単位	基準値 (H23年度)	前回値 (H27年度)	今回調査値 (H28年度)	目標 (H29年度)	
1	1か月間の平均読書冊数	小学生	冊	4.9	6.5	7.5	6.4
		中学生	冊	2.9	2.5	3.9	3.8
2	1か月間に本を1冊も読まない子どもの割合	小学生	%	17.1	10.2	11.1	12.4
		中学生	%	35.9	43.8	41.9	28.8

### 4. 調査結果の分析

- (1) 市立小中学校全69校を調査しました。前年度比較においては、平均読書冊数が小中学生とも第2次子ども読書推進計画の目標値を超えており、取り組みの成果が表れています。  
その一方で小学生の不読率は悪化し、中学生の不読率は、多少改善したとはいえ、依然として40%を超えています。
- (2) 小学校では、学校司書を全校に配置された結果「授業以外で学校図書館を活用する」で「よく利用する」児童の割合が増加し、学校図書館に人がいることの効果が高いことが分かります。
- (3) 中学校では、「授業以外で学校図書館を活用する」生徒の割合が「よく利用する」と「利用したことが無い」が増加していることから、昨年度より2極化が進んでいると考えられ、学校・生徒の現状を踏まえた取り組みを検討する必要があります。



## 平成 28 年度横須賀市の児童・生徒の読書実態調査について

### 1. 目的

平成 24 年度に策定した「第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進捗状況について把握するため、本市における子どもの読書の実態を調査します。また、「第 3 次横須賀市子ども読書活動推進計画」改定のための設問も追加します。

### 2. 調査内容

#### a 児童生徒用

平均読書冊数（11 月の 1 か月の間に読んだ本・雑誌の数）や読書についての意識、学校図書館・公共図書館利用の調査

小学生用調査票（別紙 1）

中学生用調査票（別紙 2）

高校生用調査票（別紙 3）（「第 3 次横須賀市子ども読書活動推進計画」改定用）

児童生徒数調査票（別紙 4）

#### b 保護者用（「第 3 次横須賀市子ども読書活動推進計画」改定用）

保護者の方への子どもに対する読書についての調査

保護者用調査票（別紙 5）

保護者配布数調査票（別紙 6）

#### c 学校用（「第 3 次横須賀市子ども読書活動推進計画」改定用）

学校における読書活動の取組の調査（小学校は調査済みの項目があるため、問 1、問 10 のみ回答）

学校用調査票（別紙 7）

### 3. 調査対象

#### a 児童生徒用

- ・ 市立小学校の 2～6 年生の各学年の 1 クラスを抽出
- ・ 市立中学校の各学年の 1 クラスを抽出
- ・ 市立高校の各学年の 1 クラスを抽出（定時制を含む）（「第 3 次横須賀市子ども読書活動推進計画」改定用）

#### b 保護者用（「第 3 次横須賀市子ども読書活動推進計画」改定用）

- ・ 抽出市立小学校の 4～6 年生の各学年で児童生徒用アンケートを実施していない 1 クラス
- ・ 抽出市立中学校の各学年児童生徒用アンケートを実施していない 1 クラス
- ・ 抽出市立高校の各学年児童生徒用アンケートを実施していない 1 クラス（定時制を含む）

- 学校用（「第3次横須賀市子ども読書活動推進計画」改定用）
- ・ 市立学校全校に実施（特別支援学校を含む）

#### 4. 提出期限

平成 28 年 12 月下旬

#### 5. 集計結果の取扱い

- (1) 各校に全体の集計結果及び自校分の結果を送付
- (2) 市ホームページ及び学校イントラネット上に掲示
- (3) 社会教育委員会議で集計結果報告
- (4) 来年度「第3次横須賀市子ども読書活動推進計画」策定資料として活用

#### 6. その他

- (1) 調査結果は、「第2次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進行管理及び「第3次横須賀市子ども読書活動推進計画」策定に使用し、他の目的に使用いたしません。
- (2) 集計結果について公表の際は、学校名は公表いたしません。

事務担当は、中央図書館図書サービス係 海老沼 822-2202



## 小学生の読書についての調査 ちようさ

あなたの学年を○でかこんでください。

学 年	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
-----	-----	-----	-----	-----	-----

【問1】あなたは11月の1か月の間に、本・雑誌・マンガを何冊ぐらい読みましたか。借りて読んだ本も入れてください。

(教科書・学習参考書(ドリル・問題集)の数は入れないでください。)

1冊も読まなかった人は0と書いてください。

紙の本と電子書籍(ケータイ小説など)両方読んでいる人は分けて書いてください。

答

紙		電子書籍 <small>でんししょせき</small>	
1. 本	冊	4. 本	冊
2. 雑誌 <small>ざっし</small>	冊	5. 雑誌 <small>ざっし</small>	冊
3. マンガ	冊	6. マンガ	冊

【問2】あなたは、本を読むのが好きですか。番号を1つだけ○でかこんでください。

答

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえばきらい
4. きらい

【問3】あなたは、授業以外で学校図書館を利用したことがありますか。

答

1. よく利用する <small>りよう</small>	
2. ときどき利用する <small>りよう</small>	
3. あまり利用しない <small>りよう</small>	(を選んだ人は【問4】へ)
4. 利用したことがない <small>りよう</small>	(を選んだ人は【問4】へ)

【問4】【問3】で3と4のどちらかに○をつけた人におたずねします。

図書室を利用しないのはなぜですか。

答

1. 行く時間がないから
2. 本に興味がないから
3. 図書室の開いている時間が分からないから
4. 読みたい本がないから
5. 一緒に行く人がいないから
6. 本を読むのが嫌いだから
7. 買って読むことが多いから
8. その他( )

【問5】あなたは、学校以外の図書館を利用したことがありますか。

答

1. よく利用する	(を選んだ人は終わりです)
2. ときどき利用する	(を選んだ人は終わりです)
3. あまり利用しない	(を選んだ人は【問6】へ)
4. 利用したことがない	(を選んだ人は【問6】へ)

【問6】【問5】で3と4のどちらかに○をつけた人におたずねします。

図書館を利用しないのはなぜですか。

答

1. 行く時間がないから
2. 本に興味がないから
3. 図書館がどこにあるか知らないから
4. 読みたい本がないから
5. 一緒に行く人がいないから
6. 本を読むのが嫌いだから
7. 買って読むことが多いから
8. その他( )



## 中学生の読書についての調査

あなたの学年を○でかこんでください。

学 年	1年生	2年生	3年生
-----	-----	-----	-----

【問1】 あなたは11月の1か月の間に、本・雑誌・マンガを何冊ぐらい読みましたか。借りて読んだ本も入れてください。  
(教科書・学習参考書(ドリル・問題集)の数は入れないでください。)

1冊も読まなかった人は0と書いてください。

紙の本と電子書籍(ケータイ小説など)両方読んでいる人は分けて書いてください。

答

紙		電子書籍	
1. 本	冊	4. 本	冊
2. 雑誌	冊	5. 雑誌	冊
3. マンガ	冊	6. マンガ	冊

【問2】あなたは、本を読むのが好きですか。番号を1つだけ○でかこんでください。

答

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえばきらい
4. きらい

【問3】あなたは、授業以外で学校図書館を利用したことがありますか。

答

1. よく利用する	
2. ときどき利用する	
3. あまり利用しない	(を選んだ人は【問4】へ)
4. 利用したことがない	(を選んだ人は【問4】へ)

【問4】 【問3】で3と4のどちらかに○をつけた人におたずねします。

図書室を利用しないのはなぜですか。

答

1. 行く時間がないから
2. 本に興味がないから
3. 図書室の開いている時間が分からないから
4. 読みたい本がないから
5. 一緒に行く人がいないから
6. 本を読むのが嫌いだから
7. 買って読むことが多いから
8. その他( )

【問5】あなたは、学校以外の図書館を利用したことがありますか。

答

1. よく利用する	(を選んだ人は終わりです)
2. ときどき利用する	(を選んだ人は <sup>お</sup> わりです)
3. あまり利用しない	(を選んだ人は【問6】へ)
4. 利用したことがない	(を選んだ人は【問6】へ)

【問6】【問5】で3と4のどちらかに○をつけた人におたずねします。

図書館を利用しないのはなぜですか。

答

1. 行く時間がないから
2. 本に興味がないから
3. 図書館がどこにあるか知らないから
4. 読みたい本がないから
5. 一緒に行く人がいないから
6. 本を読むのが嫌いだから
7. 買って読むことが多いから
8. その他( )



別紙4

「読書実態調査」の実施児童・生徒数について

調査に当たって、児童・生徒のアンケート回答割合を把握するため、実施対象クラスの児童・生徒の在籍人数の報告をお願いいたします。

小学校は「1」に、中学校・高校は「2」に記入をお願いいたします。

学校名 \_\_\_\_\_

記入者 \_\_\_\_\_

1. アンケート実施クラスの児童在籍数をお答えください。

2 学年 \_\_\_\_\_

5 学年 \_\_\_\_\_

3 学年 \_\_\_\_\_

6 学年 \_\_\_\_\_

4 学年 \_\_\_\_\_

2. アンケート実施クラスの生徒在籍数をお答えください。

1 学年 \_\_\_\_\_

2 学年 \_\_\_\_\_

3 学年 \_\_\_\_\_

4 学年 \_\_\_\_\_





## 「読書についての調査」実施の手引き

調査に当たって、児童・生徒に対して、回答を暗示しないよう説明をお願いいたします。

### (調査のすすめかた)

1. まず目的を説明してください。  
「横須賀市の子どもが、読書をしているのか、調べるための調査です。調査の結果は、「第2次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進捗状況を確認するためと「第3次横須賀市子ども読書活動推進計画」策定の基礎資料として使用します。」
2. 続けて次のことをお伝えください。  
「これから答えていただくのは、テストではありません。ですから、名前を書く必要はありません。学級や学校名を発表することはありません。」
3. 次に学年を○で囲むよう説明してください。
4. 終了を確認してから、【問1】を説明し、記入を確認してから【問2】に進んでください。以下同様に【問6】までお願いします。

### (調査の実施にあたっての注意点等)

1. 【問1】で調査するのは、11月の1か月の間に読んだ本・マンガ・雑誌の数です。種別ごと設けた3つの欄に、それぞれの数を記入してください。他にパソコンやスマートフォンなどで読んだものについての記入もお願いします。  
  
①本の欄に記入するのは、一般の単行本（児童書・小説・ノンフィクション・実用書等）・文庫本・絵本・ムック等であることを説明してください。  
学習マンガ（「マンガ××の歴史」「マンガ○○のひみつシリーズ」等）や図鑑についての判断を求められた場合は、「本」として含めてください。  
電子書籍の本についても、マンガ・雑誌は含めないことを説明してください。「ケータイ小説」「Web 小説」のような場合は、一つの物語が完結している分を1冊とみなして数えてください。



② マンガの欄に記入するのは、マンガの単行本（コミック）・マンガの文庫本等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌の数は、ここに入れないでください。電子書籍の本についても、マンガの週刊誌・月刊誌の数は、ここに入れないでください。

③ 雑誌の欄に記入するのは、週刊誌・月刊誌等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌等の数はこちらに入れてください。電子書籍の本についても、マンガの週刊誌・月刊誌等の数はこちらに入れてください。

⑤ 回答欄毎の分類で1冊も読まなかった場合は、当てはまる欄に0と記入してください。

⑥ 通読はしないが読んだ本・マンガ・雑誌がある場合、それを1冊に数えるかどうかは、本人の感覚にまかせてください。数量的な基準を問われた場合は、概ね3分の2以上としてください。電子書籍の本についても同様です。

2. 【問2】で調査するのは、本を読むことが好きか、きらいかです。

① この設問で、調査の対象としている「本」とは、【問1】の「本の欄」で定義した「本」です。マンガ、雑誌ではありません。

② 4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

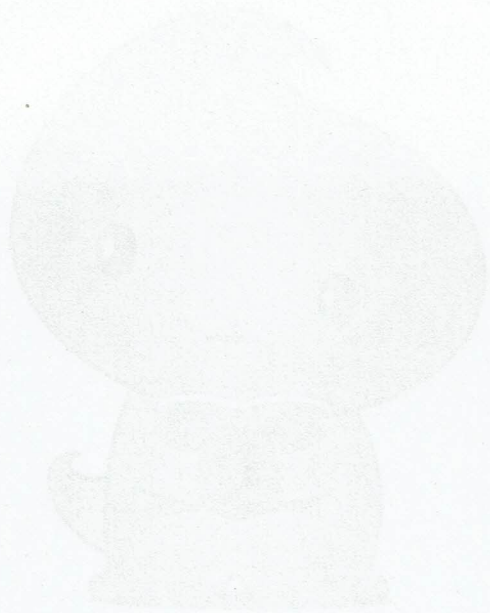
3. 【問3】で調査するのは、学校図書室を利用する頻度についてです。4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

4. 【問4】で調査するのは、学校図書室を利用しない理由についてです。【問3】で3と4のどちらかに○をつけた人について、おのおの8つ選択肢がありますので、あてはまる番号を選んで（複数回答可）○で囲んでください。

5. 【問5】で調査するのは、学校以外の図書館を利用する頻度についてです。4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

6. 【問6】で調査するのは、学校以外の図書館を利用しない理由についてです。【問5】で3と4のどちらかに○をつけた人について、おのおの8つ選択肢がありますので、あてはまる番号を選んで（複数回答可）○で囲んでください。





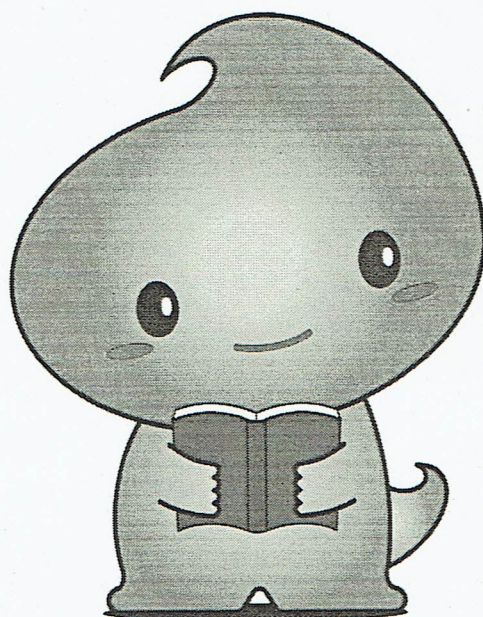
香港特別行政區政府 勞工處 勞工處

香港特別行政區政府 勞工處

勞工處 勞工處

勞工處 勞工處

勞工處 勞工處



横須賀市の児童・生徒の読書実態調査報告書

平成 29 年(2017 年)3月発行

横須賀市立中央図書館  
〒238-0017 横須賀市上町1-61  
電話 046-822-2202